

令和9年度 国の予算・制度等に関する要望 実施報告

- | |
|--|
| 1 開催日時：令和8年10月1日（木）13：20～13：40 |
| 2 訪問先：自由民主党東京都支部連合会 |
| 3 参加者：梶山理事長、榎本副理事長、坂野副理事長、横田幹事長、
内山事務局長、川上事務局次長 |

対応議員：衆議院議員： 井上信治、平将明、木原誠二

安藤高夫、石原宏高、今岡植、大西洋平、小田原潔、
黒崎祐一、菅原一秀、辻清人、辻由布子、長島昭久、
福田かおる、山田美樹、森原紀代子

参議院議員： 朝日健太郎

最初に、梶山理事長から井上会長に要望書が提出された。

その後、井上会長からの挨拶、梶山理事長挨拶の後、政連側の要望説明が横田幹事長から行われ、以下の内容について意見交換を行った。

【意見交換】

（辻由紀子議員）

適正価格の契約について、自身は内閣府のPFI推進室にいたが、物価変動に伴う費用の増減リスクに通知していた立場だったが、指定管理者制度以外で認められていない現状があるということか。

（横田幹事長）

受注者がこの時期に最低賃金の上昇など踏まえ、翌年の下見積りを提出している。現状はそこで予算がないとの話となり、各通知は理解していただいているが、難しいとの話となる。また、東京の概ね23区で公契約条例が現在施行されている。その中で、スライド条項的なものが適用されている区もある。それによって毎年値上げさせていただく形をとるところもある。

（平議員）

上手くいっているところもあればいけないところもある。スライド条項など出来るところもあるという現状が理解できた。個別の事業者では言いにくいところもあるのだろうから、価格転嫁、適正価格への変更がうまくいっている好事例やヒートマップなどを作成して示してもらえれば、やらなければいけないという注意喚起にもなるのではないか。

（福田議員）

しっかり要望内容をフォローしていきたい。特に地元で確認していきたい。

（平議員）

今回の要望は各省にわたるが、事を起こそうと思うとどこを主に話すべきか。

(横田幹事長)

業界としては基本的には厚生労働省となる。ただ、なかなか統一的に主導できてない。国交省などは公共工事設計労務単価など、各都道府県、自治体含めて標準金額が隔々まで広まっている。その価格の90%以上を払いなさいと公契約条例などでもなっている。役務の提供では統一的ではなく、各案件や省庁、自治体単位で検討している。最終的には各自治体を統括する総務省になるかと思われる。

ぜひ、全省庁統一資格付与点数表の見直しなどにもご配慮いただきたい。

